

るんるんクラブ 自分史作成

湖南市高齢者支援センター
ほだいじ

地域の公民館など3ヶ所(岩根・菩提寺・菩提寺北)で生きがいデイサービス(るんるんクラブ)を行っています。これは介護保険の対象とはならないけれども、なかなか出掛けにくく閉じこもりがちな高齢者の方が、仲間と共に楽しく元気で過ごされるための活動です。

(市の委託事業です。ご利用希望の方は支援センターまでご連絡ください。電話74-4093)

皆さん、イキイキとして参加頂いており、「その秘訣は何ですか?」とお聞きすると、「るんるんクラブで同年代のお仲間とおしゃべりすることが何より楽しい。」と話されます。



るんるんクラブ

活動内容はお花見などの外出、お料理、手芸、リハビリ教室、などなど多岐にわたりますが、昨年度は7ヶ月かけてお1人ずつ「自分史」作りに挑戦されました。これまでの人生での思い出深い写真を数枚選び、その思い出を文章にしたり、ボランティアさんにお話ししたりして、1枚の画用紙にまとめました。愛らしい幼少時、着物姿が見とれるほど美しい女学校の頃、戦争に翻弄された兵隊や結婚の頃、いきいきとした仕事盛りの頃、楽しい家族旅行、孫らとの大集合などそれぞれの人生の凝縮した写真とコメントで、とても味わい深いものに仕上がりました。皆さん大満足です。「さらに形見として作ってやりたい」とか「我家の家宝にしたい」などの声があがるほどです。



自分史

寄付金・後援会感謝報告

日頃のお支えを心より感謝申し上げます。

2005年1月～3月まで

【寄付金】	
岩倉千春	八子忠明・美代子
上島良彦	美藤章
植田清一郎	平野正
片谷美智子	水口教会
坂田志江	水口子どもの教会
坂田由次	安野喜仁
佐野みつ子	山川綾子
柴田賢造	山田陽子
多賀敦子	大和キリスト教会支援委
高橋幸子	谷弥寿男
田淵正孝	森口茂
日本基督教団洛西教会	堀満津

(順不同・敬称略)



調理員

ケアハウスの厨房で働ける人(一名)

デイサービス送迎スタッフ

朝・夕それぞれ2時間程度のご利用者様の送迎です。

ヘルパー

一日2時間程度勤務できる人募集しています。

※いずれも有償です。担当…総務 加尾までお電話ください。TEL74-3900

配食配達スタッフ

独居の方に昼・夜のお弁当を配達しています。余暇をいかして、お力を貸して頂ける方。1回1時間程度です。

連絡先…高齢者支援センター 加尾までご連絡ください。TEL74-4093

発行日 2005年5月

発行責任者

理事長 奈良 譽 夫
館長 森口 茂

後援会費振込口座

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 0960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)



ビスガからの風 第10号

2005年5月

社会福祉法人

近江ちいろば会 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)

FAX.0748-74-3910

後援会長より



後宮 俊夫

いつも「近江ちいろば会」の働きをご支援くださりまして厚く感謝いたします。

昨年「館長」役を交代しましたときにご挨拶させていただきましたが、今回は「後援会長」としてご挨拶をさせていただきます。

皆様には創設時には、多額の献金・寄付金をいただきましてケアハウス「ビスガこうせい」を核とする老人福祉施設を建設し事業を開始することができました。今年10年を迎えるに当たって、改めて厚く御礼申し上げます。

老人福祉法のもとでは必要な運営費を支給されていません。少しの設備改善とか、規定以上のサービス改善とかの資金を「ビスガからの風」で後援会への寄付金としてお願いし、これに添えてのご支援をいただいております。

すことは誠に感謝であります。特に2000年以降、事業の大部分が介護保険事業に移されてから、経営が厳しい中、助けられてきましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、次の10年先、2015年を見据えての高齢者福祉を考えていかなければなりません。高齢者の尊厳を支えるケアの確立を目指して

- ・認知高齢者ケアの確立
- ・在宅で、できるだけ永くお暮らしいただけるサービスの提供
- ・介護予防

を国の政策も舵取りをしています。ちいろば会も、開設以来取り組んで参りました認知症ケアに対する取り組みを柱に、地域貢献をしていきたいと願っております。

本年は10周年を迎え、秋には記念行事などを予定しておりますが、共に祝うと共に、後援会としても全面的にバックアップをしてみたいと思います。

皆様方のご支援も何卒よろしく御礼申し上げます。



園 らく様

ビスガのフェンス横に花壇ができました。主に花づくりをして下さっている園さんにお話をお聞きました。

Q 昔から花づくりはお好きだったのですか?

A はい、若い頃から花や植木の剪定が好きやったな。庭の高い木に登って形良くするのが得意だったので、人に頼まれてよく人の家の庭もきれいにしたものです。家の方は畑がいっぱいあるのでいろんなものをつくっていたな。

Q ここでこれからどんなものをつくりたいですか?

A 草花もいいけど、切り花にできるような花も植えたいと思う。あと、いろいろな花壇の形をつくって花を植えても楽しいと思う。実のなる木を植えて、例えば栗とか柿とか食べれる楽しみがあったらいいと思うよ。

園芸の事になると本当に楽しそうにお話していただきました。園さんに教えていただきながら、ビスガを花いっぱいにしていきたいと思っています。



基本理念:人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

外出レク

2月16日(水)

ケアハウスより

美味しく、安いと評判の店、“倍”に昼食に出かける日です。外は、あいにくの雨です。参加者5名。玄関には、もう11時ごろより待っている方もおられます。午前11時30分、送迎バスがきました。車に1名、2名…5名乗り込んだところで発車！バスは、一路草津へ。食べ物談議で、車中はにぎやかです。到着、玄関でお店の方が、おかえにこちら席に案内していただく。やがて、お弁当が一人ひとりに配られ、ビールで乾杯。おしゃべりもはずむ。フナ寿司のこと、次どこがいいか、趣味の話とおなかも満足、口も満足、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。帰りは、別の婦人会の方との乗り合いバスで、また話がはずむ。「若いですわね、とても90過ぎには見えませんね」と感心されたり、人生の先輩としての、助言を一言…わがケアハウス住民は、どこへいってもたくましく、明るい方ばかりです。

ご入居者様より



北村 美代子様

平成8年にケアハウスに入居してから今まで、色々な事がありました。友人である齊藤さん、笹俣さんと3人で

畑作りをした事も思い出の一つです。焼却炉裏にある二畳分程の赤土を耕して、畑作りを始めからは、毎年夏野菜の苗を買い、それを収穫するのを本当に楽しみにしていました。また、滋賀県の各地に日帰り旅行へ行くのも楽しみの一つです。

思い出は数多くありますが、私の生涯において最も幸せだった日は平成10年9月6日です。その日、私は栗東教会で長沢牧師から洗礼を受けたのです。神様、イエス様にこの幸せを感謝いたします。

DAY デイ・サービス (いこい) SERVICE

①ビスガこうせいの坂を下り、小さな橋を渡った所の団地の道路を横切った路地沿いに「いこいハウス」があります。いこいハウスは一軒家の庭付きの平家建ての古い民家です。毎日4名～6名のご利用者が来られています。庭には季節を彩る草花があり、畑と一緒に野菜を育てています。昼食時には季節の野菜が時々食卓に並びます。ご利用者と職員が共に料理をすることもよくあります。「いこいハウスは第2の我が家やな」とおっしゃられる言葉は、私たちの喜びでありエールです。



②いこいハウスは午後からよく外に出かけます。今年の1月～3月にかけて数回湖南市内のファミリーレストラン「ココス」に出かけました。午後の一時、お茶を飲みケーキを食べながらワイワイと賑やかに楽しい時を過ごしました。日常生活の中でのこのようなささやかな一時が私たちはとても楽しく思えることがよくあります。私たちのデイサービスはご利用者と共に過ごすということを大切にしていきたいと思えます。



入居者様・利用者様 作品コーナー

俳句

ケアハウス 早寝早起き
気兼ねなし 守山ぼたろ
七十歳 母の年より
長く生き 紙風船
物忘れ 今日もうくつ 阿呆どり
忘れたの 居酒屋で飲んで唄って
夜が更ける 人の名が 記憶の外に
投げ出され 山姥

短歌

春雨の一人一人に
かさひらき 見守る 姿 美しき
桜 あてやかに 風 掃くつら
花に酔い 千年の歳月 紅しだれ
さておいて たつこ

行事報告

1月1日 新年の記念撮影と昼食会	2月16日 外出レク	3月16日 落語会	2005年 1月～4月まで
18日 新年会(落語・舞踊)	24日 ピアノ演奏会	4月13日 外出レク(花見)	

グループホーム

旅行

グループホーム開所して初の一泊旅行が実現しました。行き先は、近江八幡市厚生年金休暇センター。2月23・24日の1班、2月26・27日の2班に分かれて、大勢のご家族やボランティアの方々にも参加していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。普段はお風呂が苦手なNさん。でも、大浴場できれいさっぱり、上機嫌。その後のカラオケにも熱が入っておられました。

あいにくの雪と寒さに見舞われた2班でしたが、2日目、朝食会場からの雪景色の美しかったこと。Kさんも大喜びで、何度も窓際へ足を運んでおられました。皆さんの笑顔で大成功は一目瞭然。ぜひ、2回目も行きましょうね。



